



キミと一緒に、育っていききたい。
Komaki

KOMAKI SHIGIKAI DAYORI

こまき 市議会 だより

No.198 発行／小牧市議会
2022年5月1日



- 令和4年度一般会計予算を含む
議案46件を可決2～6
- 3会派が代表質問、
9人が個人通告質問を実施9～15
- おしえて! 市議会のイロハ⑧16
- 第2回・第3回臨時会の審議結果16

*ホームページ

小牧市議会

検索



★表紙写真の募集をしています。

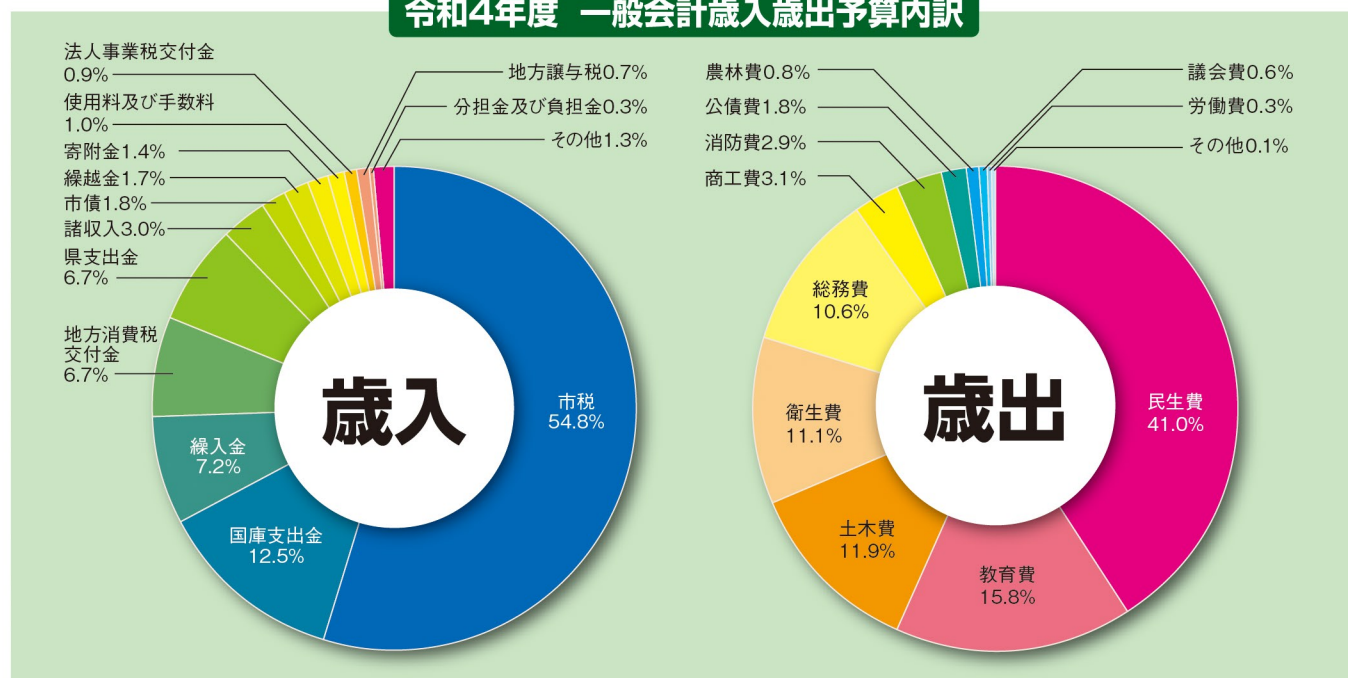


「てくてくalko 城見市 小牧山ライブステージ」
(令和4年3月27日 撮影)

ひとりひとりの多様性を尊重した 共生社会の実現を目指す予算案を可決

令和4年度 一般会計 予算額 584億7500万円
(対前年度比 △1.0%)

令和4年度 一般会計歳入歳出予算内訳



市の「収入」にあたる歳入では、根幹をなす市税収入が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、企業収益は回復傾向にあり、法人市民税の増収を見込んでいることから対前年度比で増収となつていきます。

市の「支出」にあたる歳出では、公共施設の老朽化に伴う施設の改修経費や少子高齢化の進展などによる社会保障関連経費が増加しているほか、GIGAスクール構想に伴う小中学校の児童・生徒への1人1台のタブレット端末の配備及び運用に要する経費など国の政策に関連した支出の増加があり、市の財政を圧迫しています。

令和4年度予算は、施策全般にわたり、これまで以上に各事業の緊急度・重要度を見極め、限られた財源を最大限有効に活用する観点から重要施策を優先的かつ積極的に予算化する編成となっています。

特別会計	
会計名	令和4年度当初予算額
土地取得	27万円
国民健康保険事業	125億2344万円
文津土地区画整理事業	5億865万円
岩崎山前土地区画整理事業	2億4148万円
小牧南土地区画整理事業	4億1571万円
本庄土地区画整理事業	8967万円
介護保険事業	91億6223万円
後期高齢者医療	38億9329万円
合 計	268億3474万円

企業会計	
会計名	令和4年度当初予算額
病院事業	279億9806万円
水道事業	64億784万円
下水道事業	49億3918万円
合 計	393億4508万円

※1万円に満たない額は切り捨てて表記しているため、実際の額とは異なります。

市民の安全、暮らしを支える事業が充実します!!

口腔がん検診事業 111万1千円



小牧市歯科医師会と連携し、集団による口腔がん検診を実施します。

建築物等及び空き地適正管理事業 328万4千円



※小牧市建築物等及び空き地の適切な管理に関する条例(令和4年4月施行)
人の生命又は身体に重大な損害を及ぼす危険な状態が切迫し、所有者等が回避措置を行えない場合、市は条例に基づき必要な最小限の措置を行うことができます。

子ども医療費助成事業 4800万9千円



令和4年9月診療分から高校生等の入院分に加え、通院分も助成することで医療費に係る保護者の経済的負担を軽減します。

スクールソーシャルワーカー配置事業 1495万2千円



スクールソーシャルワーカーを1名増員し、貧困やネグレクト、ヤングケアラーなどといった家庭環境に要因がある児童生徒の支援体制を強化します。

高齢者外出支援事業 1950万円



一般タクシーやリフト付きタクシー等の利用料金の一部を助成する利用券を交付することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう外出支援を充実します。

こまきプレミアム商品券発行助成事業 2億6300万円



プレミアム率20%のこまきプレミアム商品券を総額14億4000万円分発行し、小牧商工会議所と連携して市内の商業者支援と地域経済の活性化を図ります。

第1回定例会

会期 2月24日から3月16日
までの21日間

条例案11件をはじめ、合計46議案を審議しました。
上程された主な議案と審議結果は次のとおりです。

条例

▽消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定
出動に係る報酬額を増額するもの。

変更前	変更後
6時間以内 1回 3,000円	4時間以内 日額 4,000円
6時間超 1回 6,000円	4時間超 日額 8,000円



▽医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定

令和4年9月1日から子ども医療費の支給範囲を拡大するもので、高校生等(18歳に達した年度末までの)の通院の自己負担額を対象とするもの。
(現行 入院分を対象)



一般

▽青年の家の指定管理者の指定

▽創垂館の指定管理者の指定

令和4年4月1日から1年間、一般財団法人こまき市民文化財団を指定するもの。



青年の家



創垂館

補正予算

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億5177万7000円減額し、660億6000万4000円とするものです。
主なものは次のとおりです。

- ・小学校施設営繕事業
(増額) 3億9002万円
- ・用地購入費(土地区画整理事業)
(増額) 3億7044万7000円
- ・用地購入費(歩道設置事業)
(増額) 1億3482万円
- ・企業立地促進補助金
(減額) 1億1039万8000円

人事

▽副市長の選任

・伊木 利彦(再任)

▽固定資産評価審査委員会委員の選任

・神山 真也(再任)
・高橋 秋文(新任)

※氏名は敬称略

決議

▽ロシアによるウクライナへの侵略を非難する決議

ロシアによる侵略行為は、国際秩序の根幹を揺るがし、我が国を含む世界の平和と安全を脅かすものであり、武力による一方的な現状変更の試みは、断じて看過できない。

この侵略行為を強く非難し、人命の尊重と、ロシア軍の即時撤退を求めるとともに、自由と民主主義、家族と同胞を守るため、困難な戦いの中にあるウクライナ国民に寄り添う私たちの気持ちを表すとともに、世界の恒久平和を念願し、市民一人ひとりが平和をつくり守るための不断の努力を行っていく決意を誓うもの。



第 1 回 定 例 会

◇上程議案と審議結果◇

※ 否決された議案はありませんでした。

議決結果	件 名
	条例案 11件
全員一致	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	使用料及び手数料条例等の一部を改正する条例の制定
全員一致	基金条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定
全員一致	医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	開発行為等の許可の基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	上下水道事業経営審議会条例の制定
全員一致	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定
全員一致	市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定
	一般議案 6件
全員一致	尾張都市計画事業小牧本庄土地区画整理事業用地の取得
全員一致	事故に係る損害賠償の額の決定
全員一致	青年の家の指定管理者の指定
全員一致	創垂館の指定管理者の指定
全員一致	道路線の廃止
全員一致	道路線の認定
	令和3年度補正予算案 12件
全員一致	一般会計補正予算(第14号)
全員一致	土地取得特別会計補正予算(第1号)
全員一致	国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
全員一致	尾張都市計画事業小牧文津土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
全員一致	尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
全員一致	尾張都市計画事業小牧南土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
全員一致	尾張都市計画事業小牧本庄土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
全員一致	介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
全員一致	後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
全員一致	病院事業会計補正予算(第3号)
全員一致	下水道事業会計補正予算(第2号)
全員一致	一般会計補正予算(第15号)

議決結果		件 名
		令和4年度当初予算案 12件
賛成多数	一般会計予算	
全員一致	土地取得特別会計予算	
全員一致	国民健康保険事業特別会計予算	
全員一致	尾張都市計画事業小牧文津土地区画整理事業特別会計予算	
全員一致	尾張都市計画事業小牧岩崎山前土地区画整理事業特別会計予算	
全員一致	尾張都市計画事業小牧南土地区画整理事業特別会計予算	
全員一致	尾張都市計画事業小牧本庄土地区画整理事業特別会計予算	
全員一致	介護保険事業特別会計予算	
賛成多数	後期高齢者医療特別会計予算	
全員一致	病院事業会計予算	
全員一致	水道事業会計予算	
全員一致	下水道事業会計予算	
		人事案 3件
全員一致	固定資産評価審査委員会委員の選任(2件)	
全員一致	副市長の選任	
		決議案 1件
全員一致	ロシアによるウクライナへの侵略を非難する決議	
		意見書案 1件
全員一致	地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書の提出	

表決結果の分かれた議案

※議員名は会派別、50音順です。

第1回定例会	牧 政 会										公 明 党 小牧市議団			絆こまき			無会派							
	石田 知早人	長田 淳	河内 伸一	木村 哲也	小島 倫明	澤田 勝巳	鈴木 裕士	玉井 宰	船橋 厚	舟橋 秀和	稲垣 衿子	加藤 晶子	星熊 伸作	小川 真由美	熊澤 一敏	小沢 国大	稲垣 守	大上 利幸	野々川 嘉則	諸岡 英実	安江 美代子	谷田貝 将典	山田 美代子	
令和4年度一般会計予算	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	
令和4年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	

- 表示は、「○:賛成」、「×:反対」、「退席」、「欠席」です。
- 賛否の分かれたものの結果については、議員からの申し出に基づき掲載しております。
- 議長は、通常、採決には参加していませんが、採決の結果、可否同数の場合にのみ態度を表明できます。

委員会審査報告

主な審査内容と結果をお知らせします。

総務委員会

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定

結果 全員一致で可決

保育士・幼稚園教諭等の処遇改善

問 今回、条例改正を行うこととなった理由は何か。

答 国は、令和4年2月から収入を3%程度、月額9千円を引き上げるための処遇改善策として「保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業」を設けている。

市としても処遇改善の手法について検討を行ったところ、給料月額により処遇改善を行った場合、職員によって引き上げ額にバラツキが生じることから一定額を支給できる特殊勤務手当により処遇改善を行うものである。



福祉厚生委員会

医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定

結果 全員一致で可決

高校生等の子ども医療費の拡大

問 高校生等の子ども医療費が拡大される。高校生等へも受給者証を交付するが、これまでの助成方法と比べどのように変わるのか問う。

答 高校生等の入院費の助成方法は、償還払いとしており、いったん医療機関で医療費の自己負担額を支払ってもらったあと、市窓口へ申請してもらい支給していたので、支給には診療月から早くても3、4か月必要であった。

今回、受給者証を交付するので、健康保険証と一緒に医療機関窓口で提示すると、保険診療分の窓口自己負担が無料となり、これまでの一時的な支払い負担や申請手続きがなくなり、経済的・事務的負担が軽減されたと考えている。

文教建設委員会

創垂館の指定管理者の指定

結果 全員一致で可決

こまき市民文化財団を指定

問 こまき市民文化財団を選んだ理由を問う。

答 団体の設立目的と施設の設置目的は合っており、また、歴史館とれきし館こまきは、同団体が指定管理者として管理している実績もあり、これらと連携した施設運営が望まれる。

こうした状況を踏まえ、団体から提出された書類を審査したところ、指定管理者として指定することが適当であることと認められた。



予算決算委員会

令和3年度一般会計補正予算(第15号)

結果 全員一致で可決

〈福祉厚生分科会〉

5～11歳小児への新型コロナウイルスワクチン接種

問 新型コロナウイルスワクチン予防接種の委託料が4500万円計上されている。5歳から11歳のワクチンは、ファイザー社製の小児用ワクチンを使用すると聞いているが、1回目の接種時点では11歳で2回目の接種のときに12歳になっていたら大人用のワクチンを使用するのか問う。

答 1回目の接種時に11歳だったお子さんが2回目の接種時に12歳を迎えている場合は、2回目接種にも1回目と同様に小児用のワクチンを接種していただくことになる。



令和4年度一般会計予算

結果 賛成多数で可決

(賛成18人・反対4人)

〈総務分科会〉

寄附額を8億円と見込む予算

問 こまき応援寄附金推進事業が令和3年度に比べ増額となっているが、内容を問う。

答 まず、主な経費としては、お礼の品の発送等に要する経費、各種ポータルサイト利用の手数料、寄附の受付業務の委託料等であり、令和4年度は寄附額を8億円と見込んだ。

次に、増額の内容としては、お礼の品代となる消耗品費、ワンストップ特例手続用の料金後納予算、お礼の品配送確認通知郵送費の増額を見込んだものである。



名古屋コーチン鍋セット

〈福祉厚生分科会〉

スポーツ活動の場のさらなる拡充

問 さかき運動場施設整備事業2000万円の事業内容について問う。

答 市民の健康づくりから競技スポーツまで市民の多様なニーズに対応して、多くの人がスポーツに取り組むことができる機会の充実を図るため、これまでスポーツの振興に努めてきたところである。

こうした活動の広がりに合わせて施設の機能の充実を求める声に対応するため、さかき運動場テニスコートの南側に駐車場があるが、その西側に以前、遊具を設置していた広場とディスクゴルフ場として利用されていた緑地があり、そのエリアにフットサル兼テニスコートを整備し、スポーツ活動の場のさらなる充実を図ろうとするものである。



〈文教建設分科会〉

小牧の歴史と小牧山の魅力を発信

問 歴史館展示改装委託料の内容と今後の予定を問う。

答 歴史館の展示は現在の民俗資料から一新し、展望室からの眺望を活かし、信長が築いた城下町や、小牧・長久手の戦いの際に築かれた砦跡、周辺の城郭との距離を体感できるような展示にしていく。

今後の予定は令和4年度前半に実施設計を行い、秋以降に改装し、令和5年3月末に完了する予定。



令和4年度水道事業会計予算

結果 全員一致で可決

〈文教建設分科会〉

令和5年3月までに送水開始

問 横内浄水場更新工事の進捗状況と今後の予定を問う。

答 管理棟の建築は、基礎工事が完了し本体工事に着手している。電気、機械設備は仕様の確認を終え図面作成が間もなく完了するなど、順調に進んでいる。

令和4年度は新たな浄水池の築造や電気・機械設備の製作が完了したことから順次、管理棟内へ設置する。

すべての設備が整った後、試運転を実施し、令和5年3月までには新たな施設から送水を開始したいと考えている。





牧 政 会

石 田 知 早 人



動画をチェック!

施政方針

問

新型コロナウイルスの蔓延により大きな影響を受けたが、令和4年度は市長任期の最終年度にあたる重要な年である。

①市政運営について問う。

②令和4年度予算について、予算編成の考え方と重点施策について問う。

答

①新型コロナウイルス感染症の影響は甚大であるが、市民の当たり前の日常を取り戻すことができるよう最大限の努力をしていく。そして、「活力ある幸せな高齢社会（小牧モデル）の創造」と「若年世代・子育て世代の転入・定住の促進」を図っていくことで、15万余市民の幸せのための市政運営に全力で取り組んでいく。

②財政状況は予算を許さず、さらなる歳出の増加も見込まれる中で危機感を持ちながら、市民の安全安心等の重要施策に関する経費は削減せず必要額を確保した。市の最上位計画である「小牧市まちづくり推進計画第1次基本計画」で掲げる3つの都市ビジョン「子ども夢・チャレンジNo.1都市」「健康・支え合い循環都市」「魅力・活力創造都市」に、「行政改革と市民サービスの向上」を合わせた4つの柱の実現に向けた事業を推進する「全世代活躍・SDGs推進予算」とした。

小牧市民憲章に掲げる理想のまちの実現

問

持続可能なまちづくりを着実に進展させなければならぬ。

①子ども夢・チャレンジNo.1都市について問う。②健康・支え合い循環都市について問う。③魅力・活力創造都市について問う。④誰一人取り残さない持続可能なまちづくりについて問う。

答

①子ども達が夢を育み挑戦できる環境を整備するため、「夢にチャレンジ助成金支給事業」「駒来塾」「夢の教室」等を継続する。こまきこども未来館では「こまきこども未来大学」を開講し「少年少女発明クラブ」を新たに設立する。子育て家庭への支援は、待機児童の完全解消、保育士の処遇改善を進めるとともに、新たに妊産婦を対象に巡回バス「こまくる」のフリーパスを配布する。小牧南小学校の次に、老朽化、狭隘化が課題の米野小学校の建て替えを早期に進める。子ども医療費について、子育て家庭の負担軽減を図るため通院分の医療費助成を18歳年度末まで拡充する。

②健康寿命の延伸に向けて、「栄養・口腔」「運動」「社会参加」の3つの柱からなるフレイル対策をはじめ、口腔がん検診等を行う。生涯学習・生涯スポーツを通じた生きがいづくりに向け、「新施設予約システム」の構築による利便性向上、市民会館の大規模改修にあわせて市民館ロビー等の展示機能向



上を図り、さかき運動場にフットサルやテニスがでる多目的グラウンドの整備を進める。地域支え合い活動の活性化に向け「支え合いいきいきポイント制度」や「地域協議会」の設立、運営支援を継続する。健康・生きがいづくりと支え合いの地域づくりをより強固にするため、「(仮称)健康支え合い循環戦略会議」を立ち上げ、「活力ある高齢社会(小牧モデル)」の構築を目指す。

③本市の産業力強化のためウイズコロナ・アフターコロナを見据えた次期企業新展開支援プログラムを策定する。新型コロナウイルスの影響が続くことから、引き続きプレミアム商品券をプレミアム率20%で12万セット販売する。そして、「小牧市中心市街地ブランドデザイン」「東部振興構想」に基づき、それぞれのアクションプランを定め、具体的な取組を進めていく。市のシンボルとしての魅力や価値を高めるため、史跡小牧山の整備を進める。

④高齢者の外出を支援するためタクシー利用券の交付や在宅で介護を行う家族等への介護用品支給の充実、「(仮称)第3老人福祉センター」の整備を進める。多文化共生施策については、自動翻訳機に加えて映像通訳サービスを配備し相談体制の充実を図る。尾張地域初の「SDGs未来都市」として、「多様性と包摂性のある持続可能な社会」の実現を目指す。

●その他の質問
・新型コロナウイルス感染症への対応





絆こまき
小 沢 国 大



動画をチェック

施政方針

問

誰もが住み続けたいと思う、魅力と活力あふれる夢ある小牧市の実現を！

令和3年度を振り返ってみると、ウィズコロナの状況は変わらず、変わらなければいけないのは我々であり、あらゆる分野で可能性を見だし、加速するデジタル化や改善策、行政にも多くの変化があった。

こうした中で、進展する少子高齢化社会への対応、まちの活性化や教育環境に対する主要事業の中で、第3老人福祉センター、中心市街地の整備、小牧南小学校を始めとする教育環境の整備の見通しについて問う。

答

市内3番目の老人福祉センターは、地域バランスを踏まえ久保一色地内に整備することを平成29年度に決定し、整備に向けた手続きを鋭意進めてきた。工事は令和4年度末までに完了し、令和5年度の早い時期での供用開始を目指している。



中心市街地の整備については、「小牧市中央図書館」、「こまきこども未来館」のオープンに続き、小牧駅西公園は令和3年度末に完成を予定している。駅東側では、愛知県が行っている桃花台線インフラ撤去後に

駅東駅前広場、駅東公園の整備工事に向けた実施設計を令和4年度に行っていく。

教育環境の整備については、小中学校のトイレは、洋式化率100%を目指して、令和4年度に小学校2校のトイレ改修工事を予定している。エアカンについては、普通教室に加え、特別教室への設置も進めており、令和4年度中にすべての小中学校への設置を完了する予定である。また、改築を進めている小牧南小学校については、4月から供用開始となり、令和4年度は、旧校舎や旧体育館の解体工事やグラウンド整備などを行っていく。小牧南小学校の次に、老朽化、狭隘化が課題の米野小学校の建て替えを早期に進めていく。

地域の絆を守るための政策

問

地域の絆を大切に、支え合えるまちづくりを！

会派名にも使用している絆は、これからのまちづくりにおいて大変重要なものであり、新型コロナウイルスの影響により人と人とのつながりが希薄化してきている今だからこそ、より大切にしていかなければならないと考える。①13小学校区で設立された地域協議会の活動状況について問う。②コロナ禍で、自治会活動には様々な支障が出ている。地域の活動拠点整備として新年度より充実を図る集会施設整備事業の狙いと具体的内容について問う。③協働のまちづくりが求められる中、二丁ズの多様化により様々な活動が行われるようになったことで、事故やケガ等のリスクも考えられることから活動の足枷になる

場面もあると考える。その課題を解消すべく令和4年度から導入される市民活動総合保障事業について問う。

答

①地域協議会では、防災、防犯、福祉、交流、多文化共生、環境など様々な分野の事業に取り組みされている。福祉の分野では、高齢者の困りごと支援を行う「おたすけ隊」が4協議会で設立され、支え合い助け合い活動の輪が広がっている。コロナ禍でも知恵を出し合い、工夫し、地域の絆力で地域課題の解決に向けて取り組まれている。



②集会施設の老朽化などに伴う補助制度の創設をする。1点目は集会施設備品購入費補助で、机や椅子が古くて重く利用者の負担となっているため、その買替費用を補助する。2点目は集会施設照明設備LED化事業費補助で、施設の照明設備のLED化に係る費用を補助する。

③市民が行う市民活動中の事故を補償する「市民活動総合補償制度」に、市が保険料を負担し一括加入する。対象活動は、河川や公園などの清掃活動やごみ集積場監視活動、子ども会、自治会の運営活動などとなる。補償は入院補償や通院補償、賠償責任補償などである。導入のメリットは事前の名簿提出や市民個人の保険料負担が不要となり、一層の社会貢献活動の推進に寄与できる。

●その他の質問

- ・ゼロカーボンシティ
- ・市民窓口の利便性向上



公明党小牧市議員
稲垣 矜子
いなば ぎんこ



動画をチェック

予算編成

問

①予算編成にはどのような点に配慮したか問う。②子育て世代包括支援センター運営事業を問う。③がん対策の強化を問う。④SDGs未来都市推進事業を問う。

答

①令和4年度一般会計予算の規模は令和2、3年度に次ぐ3番目の大きさとなっているが、その主な要因は、障害福祉に係る経費や老朽化した公共施設の改修対応等の経費が年々増加しているためである。こうした中、将来の発展と活力につながる投資的な事業もバランスよく進めていく必要があることから、各種基金や市債の活用による財源の確保と世代間の公平性の確保に努めた。さらに、こまき応援寄附金に「不幸な猫を増やさないまちづくりコース」「小牧山城復元応援コース」を新設し、新たな財源の確保とあわせて、既存事業を見直し、経費の削減を図るなどにより、市民の期待に応えられる予算となるよう意を配した。

②令和4年度から、ひとり親家庭の相談・支援機能を強化するため、専門資格を持った職員を1名増員する。新たに実施する事業として、産後ケア事業のメニューに訪問型を加えるとともに利用料の負担の見直しもする。小牧市版の「こまき祖父母手帳」や妊娠婦の外出支援と

して、こまき巡回バス「こまくる」に無料で乗車できるフリーパスを作成し、配布する。望まない妊娠等で悩んでいる女性の相談窓口として「こまき妊娠SOS相談窓口」を開設する。今後、新規事業を含めた各種サービスの周知に努め、利用促進を図っていく。

③がん対策の強化のため、令和4年度のがん対策の新規事業は3つあり、ピロリ菌検査事業は、若い時にできるだけ早く除菌することが大切で、中学2年生を対象に、尿検査を無料で実施する。口腔がん検診事業は、早期に発見、早期治療につなげていくため、小牧市歯科医師会の協力を経て集団方式による口腔がん検診を実施する。子宮頸がんワクチン接種事業は、接種の機会を逃した方に対し、令和4年4月から3年間でキャッチアップ接種を行う。接種費用は無料。「防げる病気は防ぐ」考えのもと、がん検診の受診率向上を意識しつつ、がん対策の推進に努めていく。

④SDGsの達成に向けた様々な取組を広く市民に周知・啓発するとともに、行政だけでなく企業や市民団体等の多様なステークホルダーとの連携強化につながる取組を進める。具体的には、本市独自の「SDGs登録制度」を新たに構築し、市ホームページ内に登録制度専用のWebサイトを作成することで、登録団体の紹介や取組内容について最新情報を発信するとともに、登録団体等による交流会の開催を予定している。さらに、こども達が様々な体験を通じて夢を描くきっかけになるような講座として、企業や市民団体と連携した「こまきこども未来大学」の開講に向けた準備を進めている。

学校教育

問

コロナ禍における感染拡大は教育現場に様々な影響を与えている。
①スクールソーシャルワーカー(SSW)配置事業を問う。②コロナ禍における学校教育を問う。③「小牧市学校教育ICT推進計画」の見直しではどのような事に取り組んでいくのか問う。

答

①いじめや不登校、虐待、ヤングケアラーなどの問題を抱える児童生徒を支援するため、SSWを2名配置している。問題の背景には、対人関係や心の問題、家庭環境などの要因が絡み合い、学校だけでは対応が困難なケースがある。ヤングケアラーも社会的認知度が高まっているため令和4年度からSSWを1名増員し、教育と福祉の連携を一層充実させていく。②2学期から、新型コロナウイルスにより登校できない児童生徒に授業のオンライン配信を行い、多い日には約250人が参加した。また、今年2月から臨時休校した学校では、Web会議システムを使った同時双方向型のオンライン学習を試行した。今後、課題について改善し、臨時休校等においても学習が停滞しないようにオンライン学習の充実に取り組む。③情報モラルの育成、学習者用デジタル教科書の活用、非常時・災害時における活用等を掲げ、ステップアップを図る。

●その他の質問

- ・施政方針
- ・新型コロナウイルス感染症対策



市民四季の森のキッチンカー設置



小川 真由美

小川 真由美



動画をチェック!

問 飲食物の販売を決定!

前回の本会議にも四季の森でのキッチンカー設置や飲食販売の今後の考えを質問した。その後飲食物の販売を行うキッチンカーの出店試行調査を実施することを決定した。出店者はもちろん、市民も期待している。

①キッチンカー設置に至った検討内容を問う。
②スケジュールの詳細を問う。



答

①検討内容は具体的に3点。設置日は多くの来園者がお越しいただく土日・祝日とし、開始日は桜の開花時期に合わせ3月26日とした。設置場所はコロナ禍のなか密を避けるため分散型とし来園者の目につきやすく歩行の支障にならない平坦な場所であることなどを考慮し、四季の家・水辺の音楽広場・東側エントランス2箇所の計4箇所とした。使用料金は、1箇所あたり1日1000円とした。



②試行調査は3月26日～9月30日とし、期間中はルールなどを柔軟に見直し概ね7月頃には一定のとりまとめを行う。その後、都市公園条例の改正をはじめ、場合によっては必要な工事も検討を進める。

施設の改修等におけるアスベストへの対応



稲垣 守

稲垣 守



動画をチェック!

問

①アスベストをどのように把握・対応しているのか問う。②施設におけるアスベストが使用された材料を整理しておくことはできないのか問う。③アスベスト調査の結果をどのように管理されているのか問う。

答

平成17年度と20年度に、平成8年度以前に竣工した施設について、飛散の可能性が高い吹付け材を調査してアスベストの使用箇所を把握し、必要な飛散防止対策を行った。吹付け材以外の部位については把握していないが、一般的に成形等がされており、常時飛散する可能性がないため、改修工事等の前に調査し、把握していく。

②施設の竣工図等では、通常、内装材は一般名称で記載され品名等を特定した記載になっていないことが多く、専門家でない市職員が材料を確認し、適切に整理することは難しいため、事前の調査と設計の段階で法令適合性のチェック体制を強化していく。

③改修工事の際に行う分析調査は各担当課が実施することが多く、調査結果の取りまとめはしていない。今後は資産管理課で結果を集約し、工事等に活用していく。

石綿除去作業中



関係者以外
立入禁止
DO NOT ENTER

地域活性化に向けた企業活動の推進



熊澤 敏

熊澤 敏



動画をチェック!

問

①山下市長就任後に、本市の製造業について、立地の支援を行った件数と開発面積を問う。②物流業の進出状況について問う。③今後の企業支援について問う。

答

①市独自の「企業立地促進補助金」の令和3年度までの10年間の実績は、計41社で、総額18億3100万円余を交付した。開発面積は計約22・4haである。そのうち新規立地企業は計17社、約14・4haである。

②統計的な資料はないが、開発許可等から約37・8ha以上を推計している。

③本市の企業立地は物流業の著しい進出により、なかには製造業が進出を躊躇した事例もある。本市の産業構造は、様々な業種がバランスよく立地しているということが強みであり、将来に向けてバランスのよい産業集積の厚みを更に確保していくことが非常に重要だと考えている。そのためにも、「小牧市企業新展開支援プログラム」をウィズコロナ、アフターコロナに対応した企業支援について検討し、令和4年中の改定を進めていく。更に、新たに成長が見込まれる航空宇宙産業を含む次世代産業を積極的に誘致、支援していきたいと考えている。

市民の消費生活の安全推進



公明党小牧市議員
星 熊 伸 作



動画をチェック

問

①迷惑電話防止機能付電話の取付けの申請件数について伺う。②本市の高齢者のネット通信販売のトラブル相談件数、相談内容について伺う。③成年年齢引き下げに伴い、消費者トラブルに遭わないために本市はどのように考えているか伺う。④ＡＩによる特殊詐欺対策装置を活用しての今後の被害防止対策の考えを伺う。

答

①取付申請件数は、補助金の対象となつた令和２年度が５件、３年度２月末までが１２件である。②６０歳以上の高齢者の相談件数は、元年度が１０件、２年度が７件、３年度は２月末までで７件である。内容としては、一回限りのつもりが定期購入とわかり解約したいが電話がつながらないなどの相談があった。③今後も若年層への消費者教育を実施するとともに、トラブルに遭わないよう情報提供に努めていく。④ＮＴＴ等が提供するＡＩによる特殊詐欺対策装置の設置は、防犯対策の選択肢のひとつとして、防犯対策補助金を利用できる。新しい時代につながる対策であり、今後も情報収集に努める。



旧図書館解体工事



無会派
山 田 美代子



動画をチェック

問

アスベストの調査不足により追加工事費が１億円にもなった。「市は反省している」と答弁した。

①市の責任のとりかたを問う。②調査会社へ市は責任を求めるのかを問う。③なぜＰＴＡのアスベスト除去工事を安くできるのかを問う。④屋上のアスファルト防水の除去方法を問う。⑤また設計変更はあるのかを問う。⑥今からでも旧図書館を残せるがその考えはないか問う。

答

①事前のアスベストの含有調査は委託しており、専門の調査会社の意見を聞きながら事務を進めたことは、誤りではなかったと考える。②調査会社は、業務仕様書で指定した１５箇所の建材の分析は適切に行っており、債務不履行はない。③落札候補者から「安価な単価でできる業者を知っており、その金額で積算している。」と回答があった。④アスベストが飛散しないように散水しながら、全ての防水層を切削除去し密閉袋に袋詰めしたのち搬出する。⑤工期中に変更設計を行うことがないと言い切ることはできない。⑥旧図書館解体工事は、市議会の議決を受けて進めているので予定通り進めていく。



旧図書館解体工事請負変更契約



無会派
安 江 美代子



動画をチェック

問

この設計変更は、当初の３倍ものアスベストが発見されたことによつて約１億円の契約変更となった。市長・総務部長・教育部長から反省の弁があった。

ずさんなアスベスト調査に始まり７０％の異常な設計変更となったことは、法律遵守の欠落・ガイドラインの勝手な解釈、市のチェック機能の甘さだ。こんなずさんな行政をしていてもよいのか問う。

答

小牧市設計変更事務取扱要領では、設計変更による累計増加額が当初契約金額の３０％を超えるものであつても現に施工中の工事と分離して施工することが著しく困難な場合は、契約変更が認められると規定されている。

アスベストの除去に関しては、非常に高い専門性を求められるものであることから専門業者に調査を依頼したものであるため、職員の専門性が欠けるという議論は適切ではない。今回の件では、金銭的な損害やアスベストが飛散する等の被害は発生していない。今後は、解体工事におけるアスベスト除去において不安を抱かれることのないように、今回の経験を活かして、市全体で対策を検討することが大事なことでありと考えている。



無会派
諸岡英実



動画をチェック！

問

コロナ禍で学校休校が相次ぎ、こどもたちの学習を保障する環境整備が急務。休校時にオンライン学習を実施した学校では、接続や学習方法等対応に混乱した家庭もあり、多くの課題や改善点が見られた。①学校休校時のタブレットの活用状況を問う。②自主休校等の通学困難児童生徒へのタブレットを活用した学習保障を問う。③休校時のICT支援員の支援体制を問う。④授業動画が見られない生徒に対し、アイカブを残す等、今後の取組について問う。

答

①②市独自のオンライン学習の5ステップに基づき、デジタルドリルやウェブ会議システムで健康観察に取り組んできた。まん防発令期間は原則小学4年生以上で毎日端末を持ち帰り、休校時はウェブ会議システムで学習資料の説明や質疑応答の取組を試行。今年度中に策定する第2次小牧市学校教育ICT推進計画に長期欠席児童生徒への学習支援の取組を盛り込む。③休校時も希望校にICT支援員が訪問し、学習配信等支援を行った。④録画配信は考えていないが、ノウハウを全体で共有し、スムーズな学習参加の為の改善に取り組む。



無会派
野々川嘉則



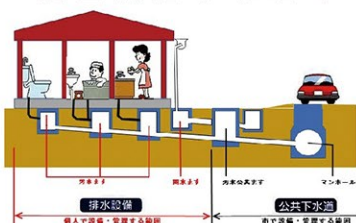
動画をチェック！

問

小牧市下水道事業長期経営計画(案)の中で、市街化調整区域の下水道整備区域の見直しが行われている。広報こまき2月15日号で、「市街化調整区域の下水道接続について」の告知があり、2月28日までに相談いただけないと下水道接続ができないとある。①小牧市まちづくり推進計画に基づく公共下水道事業の考えについて問う。②3月1日以降に接続要望があった場合の対応について問う。

答

①既に公共下水道事業に着手している地区を除いた市街化調整区域を「合併処理浄化槽で汚水処理する区域」に変更しようとするもので、公共下水道と合併処理浄化槽の適切な分担を行いながら、生活環境を改善し、公共用水域の水質保全の推進に取り組んでいく。②期限を超えた相談も、できる限り区域見直しに反映することを考えている。なお、事業着手し、整備が完了した現在進められている池之内・野口地区などの「公共下水道で汚水処理する区域」はこれまでどおり下水道に接続することとなる。



無会派
大上利幸



動画をチェック！

問

①年次有給休暇取得状況を問う。②これまでの取得促進取組の効果を問う。③県内の市の平均取得日数11・9と比べると低い要因を問う。④要因を掴むにはアンケートを実施することが必要だと思うが市の考えを問う。⑤令和4年度の年次有給休暇平均取得日数の目標を問う。⑥スピーディーに取得促進策を実施してもらいたいがどう対応するのか問う。

答

①令和2年度の一般行政職の平均取得日数は10・1日で、市長部局に限れば9・2日である。②アニバーサリー休暇の周知等により取得促進の効果が少しずつ現れている。③明確にはわからないが、管理職や保育園の取得が少ない。現在、保育園はICTの活用等により職場環境の改善に努めている。④働き方改革を進めていく中で実施していることと考えている。⑤少なくとも県の平均は超えたいが、環境整備を進める中で取得を促す。⑥既に人事課でいくつかの案を検討している状況である。健康面からも職員にしっかりと呼びかけ、スピード感をもって全力で取得促進策を実施したい。



その他の質問

● 雨水対策

(小川真由美)

● 保育の質の確保

(安江美代子)

意見書の提出

議員提案した1件の意見書案を本会議において可決した後、関係行政機関へ提出しました。その内容は次のとおりです。(二部抜粋)

▽地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書

政府においては、地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進について、特に子どもたちの学びの継続、医療への適時適切なアクセス、新しい分散型社会の構築、持続可能な地域の医療と介護、地域住民の安全で安心な移動について特段の取組を求める。

1 全ての子どもたちの学びの継続のために

全ての地域で、感染症の拡大防止や不登校児童、生徒への柔軟な対応など、誰もがどこでも安心して学びが継続できるように、リモート授業を可能にするための通信環境等の整備、デジタル教材や通信料の無償化など、各家庭の状況に配慮した対応ができるよう、所要の措置を講ずること。

2 医療への適時適切なアクセスのために

地域住民が安心して医療にアクセスできるように、オンライン診療等

を誰もが身近に受けられるように、現在、オンライン診療を適切に実施する前提となっている「かかりつけの医師」について、各地域に適切に配備すると同時に、その存在と役割を周知する広報活動の充実など、全ての住民が「かかりつけの医師」につながれるための取組を強化すること。

3 新しい分散型社会の構築のために

地域の新しい兼業農家やデジタル人材の確保に向け、「転職なき移住」を実現するためのテレワークの拡大や、サテライトオフィスの整備等に対する補助金等の拡充や税制の優遇、更に移住者への住宅取得支援や通信料金の軽減など、分散型社会の構築への総合的な取組を強化すること。

4 持続可能な地域の医療と介護のために

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、介護及び看護分野における人材不足の解消に資するICT技術を用いた支援機器の開発と実証実験への支援を拡充するとともに、当該支援機器の現場への適時的確な導入を促進するために、その機能と安全性を適切に評価した上での人員の配置基準の見直し迅速に図られる体制を整備すること。

5 地域住民の安全で安心な移動のために

政府は、高齢化が進行する中山間地域における生活の足の確保等のため「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの実証実験を平成29年度より全国18か所で実施してきた。こうした技術面やビジネスモデル等に関する実験結果を踏まえ、各地域への実装配備が進められるように、導入要件の検討や補助事業の創設などに早急に取り組むこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年3月16日

小牧市議会

関係行政機関宛

(内閣府特命担当大臣(地方創生)、デジタル大臣、新型コロナ対策・健康危機管理担当大臣、デジタル田園都市国家構想担当大臣)

感謝状

2月4日、第122回愛知県市議会議長会定期総会(※書面表決)において、次の2名がその功績に対し、同会会長から感謝状を受けました。

前議長 舟橋 秀和 議員
前副議長 小島 倫明 議員

議会ライブ中継

令和4年8月から本会議及び委員会のライブ中継をYouTubeで配信します。ぜひご覧ください。



次回定例会のお知らせ(予定)

6月6日(月) 本会議(招集日)

6月14日(火) 本会議(一般質問)

6月15日(水) 本会議(一般質問)

6月16日(木) 本会議(一般質問)

・予算決算委員会

6月17日(金) 総務委員会

・総務分科会

6月20日(月) 福祉厚生委員会

・福祉厚生分科会

6月21日(火) 文教建設委員会

・文教建設分科会

6月23日(木) 予算決算委員会

6月24日(金) 本会議(最終日)

・市議会ホームページに年間予定を掲載しておりますが、正式な日程は、招集日前に開催される議会運営委員会で決定します。

おしえて！ 市議会のイロハ⑧



今回は、議員の政務活動費についてお伝えします。

「政務活動費」

地方自治法の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるもので、経費の範囲は条例で定めなければならないとされています。

「小牧市議会政務活動費の交付に関する条例」では、交付対象を会派（会派に属さない者を含む）とし、交付する額を1人当たり年額30万円と定めています。また、対象経費を「研究研修費」、「調査旅費」、「要請・陳情活動費」、「資料作成費」、「資料購入費」と定め、年度において交付を受けた額に残額があるときは、返還しなければならないと定めています。

また、収支報告書（領収書等の証拠書類を添えたもの）の提出が義務付けられており、小牧市議会では毎月末の収支報告をホームページに公開しています。



第2回臨時会

1月31日に開催した臨時会では、旧図書館解体工事の請負変更契約の締結とこれに係る補正予算の合計2議案を審議しました。

結果 賛成多数で可決

（賛成18人・反対3人・欠席1人）

※反対議員は、山田美代子議員、安江美代子議員、大上利幸議員です。
※欠席議員は、熊澤一敏議員です。

第3回臨時会

3月31日に開催した臨時会では、条例案2件、一般議案1件、補正予算案1件の合計4議案を審議しました。
上程された議案と審議結果は次のとおりです。

結果 いずれも全員一致で可決

- ▽市税条例の一部を改正する条例の制定
- ▽国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
- ▽パワーハラスメントによる損害賠償請求に係る和解及び損害賠償の額の決定
- ▽一般会計補正予算（第16号）

市議会からのお知らせ

◇8月1日号議会だより表紙写真募集

（募集する写真について）

- テーマ 市民の元気が伝わるもの等
- 応募期限 7月6日（水）まで。
- 提出先 小牧市議会事務局

電話（76）1168・1169

FAX（76）0360

Eメール gikagiji@city.komaki.lg.jp



（注意事項）

- 応募は、市内在住・在勤・在学の方のみです。
- 応募写真は、広報広聴委員会誌面構成を考慮し、1枚掲載いたします。（選考結果の報告はいたしませんのでご了承ください）
- 応募写真・提出者の氏名・連絡先・撮影日・撮影場所をデータで提供してください。なお、著作権は市議会に帰属します。
- 被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了承を得た上で、応募ください。
- 令和4年5月1日から応募期限までに撮影された写真であること。

議会報告会

前号（議会だより2月1日号）でお知らせしましたとおり、令和4年の議会報告会は、第1回定例会（3月議会）の審議状況をホームページに公開しています。

報告資料は、常任委員会（総務・福祉厚生・文教建設・予算決算委員会）ごとに公開しており、審査内容の概要について確認することができますので、ぜひご覧ください。

